

■ Quick けあ Build 5 8 ピックアップ

今回ご提供させていただきます『Build58』について、Build57 から変更/追加された内容のうち、ポイントとなる項目をピックアップし、各システムに分けてご紹介いたします。なお、仕様変更など重要な項目も含まれておりますので、必ずご確認くださいませようお願い致します。

No	システム	内容	ページ
1	共通	<p>既存の汎用帳票の機能をアップし、新しく以下の書式に対応しました。</p> <p>※ご利用には別途設定が必要になりますので、ヘルプデスクまでお問い合わせください。</p> <p>【居宅介護支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退院・退所情報記録書 ・入院時情報提供書 <p>【特別養護老人ホーム, 介護老人保健施設, 介護療養型医療施設, 介護医療院】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排せつ支援計画書 ・経口移行・経口維持計画書 	3
2	居宅介護支援	平成 30 年 4 月からの特定事業所集中減算の集計期間・サービス種類の変更に对应致しました。	4
3	居宅介護支援、 小規模多機能型（複合型）	居宅サービス計画ガイドライン ver2 の内容に対応致しました。	5
4	通所介護、 通所リハビリ	月間実績集計表の「年間通所人数集計表（実績）」が、平成 30 年 4 月改定の提供時間に対応致しました。	6
5	通所リハビリ	平成 30 年 4 月改定版のリハビリテーション計画書に対応致しました。	7
6	福祉用具貸与	福祉用具サービス計画書（選定提案書）に対応致しました。	10

No	システム	内容	ページ
7	福祉用具貸与	福祉用具の全国平均貸与価格及び貸与価格の、上限一覧のマスタを追加致しました。	12
8	福祉用具貸与	福祉用具品目の一覧画面にて、全国平均価格、上限貸与価格を表示するよう対応致しました。	13
9	特別養護老人ホーム、 介護老人保健施設	褥瘡の発生と関連のあるリスクにて評価を行い、サービス提供月に作成した場合、月間算定実績で実績を取り込んだ際、月初に褥瘡マネジメント加算が算定されるように対応致しました。 評価結果が介護給付費明細書の摘要欄に反映するように対応致しました。 ※ご利用には別途設定が必要になりますので、ヘルプデスクまでお問い合わせください。	14
10	介護老人保健施設、 介護療養型医療施設、 介護医療院	特定診療費、特別療養費、特別診療費の各診療項目に傷病名が設定できるように対応致しました。	15
11	特別養護老人ホーム、 介護老人保健施設、 グループホーム、 特定施設	利用者台帳に死亡日時等を登録することで、「看取り加算/ターミナルケア加算」が、レセプトの摘要記載欄を含めて自動算定されるよう対応致しました。	17
12	特別養護老人ホーム、 介護老人保健施設、 介護療養型医療施設、 介護医療院	サービス実績画面にて、食費の算定の切り替えを行うと、療養食も連動して算定の切り替えが行われるように対応致しました。	18
13	グループホーム	入院時費用について、異動情報で入院情報を登録し、サービス実績画面にて自動で取り込まれるよう対応致しました。	20
14	栄養ケア	平成 30 年 4 月改定版の栄養ケア計画書に対応致しました。	21
15	その他	栄養ケアマネジメント等の一部の画面で、分類等を指定した際に、定型文の登録・表示が分類等と連動するよう対応致しました。	27
16	訪問看護（介護） 現在未対応の問題	訪問看護（介護）3割負担の方で難病公費（54）、かつ自己負担の上限を持っている場合、介護保険の2割負担の金額をベースに自己負担上限額の手入力が必要な場合がございます。	29

1. 既存の汎用帳票の機能をアップし、下記の書式に対応致しました。

下記、5種類の帳票に対応しました。※ご利用には別途マスタ設定が必要になりますので、ヘルプデスクまでお問い合わせください。

No.	サービス種類	書式
1	居宅介護支援	退院・退所情報記録書
2	居宅介護支援	入院時情報提供書
3	特別養護老人ホーム（地域密着含む）、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院	排せつ支援計画書
4	特別養護老人ホーム（地域密着含む）、介護老人保健施設	褥瘡対策に関するケア計画書
4	特別養護老人ホーム（地域密着含む）、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院	経口移行・経口維持計画書

【例：居宅介護支援／退院・退所情報記録書】



i. メニューを押下します。

入力画面は各書式共通です。

入力画面

新規 削除

ii. 「新規」を押下し、情報を登録します。

Excel 書式

iii. プレビューすると Excel が表示されます。

2. 特定事業所集中減算の集計期間・サービス種類の変更に対応致しました。

「メニュー」 請求->特定事業所集中減算

「開始月+1」をクリックします。

判定期間: 前期 平成30年度(前期) 平30.03~平30.08 次期 **開始月+1** 端数処理方法: 小数第1位以下を 四捨五入

	平30.03	平30.04	平30.05	平30.06	平30.07	平30.08	最高紹介率	紹介率最高法人
(居宅サービス計画総数)	12	1	3	7	9	5		
訪問介護	67%			50%	50%		57%	ふく
訪問看護	100%			100%	100%		100%	医療
訪問リハビリテーション	100%	100%		100%	100%	100%	100%	ふく
通所介護	88%			100%	100%	100%	95%	ふ
通所リハビリテーション	80%			100%	67%			

判定期間: 前期 平成30年度(前期) 平30.04~平30.08 次期 開始月+1 端数処理方法: 小数第1位以下を 四捨五入

	平30.04	平30.05	平30.06	平30.07	平30.08	最高紹介率	紹介率最高法人
(居宅サービス計画総数)	1	3	7	9	5		
訪問介護			50%	50%		50%	①ふくし福祉会 ②長生き
通所介護			100%	100%	100%	100%	ふくし福祉会
福祉用具貸与		100%	67%	100%	100%	89%	グッドモーニング

サービス種類:
No. 法人名 平30.03 平30.04 平30.05 平30.06 平30.07 平30.08 合計 紹介率

平成30年度(前期)が「平30.04~平30.08」に変わります。
また、対象のサービスの種類が以下の通り変更となります。

- ・訪問介護
- ・通所介護
- ・地域密着型通所介護
- ・福祉用具貸与

3. 居宅サービス計画ガイドライン ver2 の内容に対応致しました。

◀メニュー▶ 定期業務->ケアマネジメントメニュー->アセスメント（居宅サービス計画ガイドライン）

サービス事業: 43. 居宅介護支援 基準日: 平成30年9月21日

介護支援専門員: 22222222 山田

利用者ID: (設定しない) 利用区分: (設定しない)

保険給付区分: 介護給付 検索区分: (設定しない)

利用状況: 当月利用・入所 表示順: フリガナ

(新規作成時) 書式区分: 平成29年11月版

ii. 「(新規作成時) 書式区分」で「平成 29 年 11 月版」を選択します。

ii. 新規（または複写）を押下します。

他の居宅サービス計画ガイドラインより複写

他の居宅サービス計画ガイドラインより複写

選択した履歴の一括印刷

閉じる

居宅サービス計画
ガイドライン ver2

利用者名: 114 訪問リハビリ様

作成者: 管理者 作成年月日: □

在宅利用① 在宅利用②

認定調査を行った月のサービス利用回数を記入。
(介護予防)福祉用具貸与は調査日時点の、特定(介護予防)福祉用具販売は過去6月の品目数を記載

訪問介護(ホームヘルプサービス) 月 □ 回 □ (介護予防)福祉用具貸与 □ 品目

(介護予防)訪問入浴介護 月 □ 回 □ (介護予防)特定(介護予防)福祉用具販売 □ 品目

(介護予防)訪問看護 月 □ 回 □ (介護予防)住宅改修 □ あり □ なし

(介護予防)訪問リハビリテーション 月 □ 回 □ (介護予防)夜間対応型訪問介護 月 □ 日

(介護予防)居宅療養管理指導 月 □ 回 □ (介護予防)認知症対応型通所介護 月 □ 日

通所介護(デイサービス) 月 □ 回 □ (介護予防)小規模多機能型居宅介護 月 □ 日

(介護予防)通所リハビリテーション(デイケア) 月 □ 回 □ (介護予防)定住型居宅介護 月 □ 日

(介護予防)短期入所生活介護(特養等) 月 □ 日 □ (介護予防)短期入所療養介護(老健・診療所) 月 □ 日 □

(介護予防)短期入所療養介護(老健・診療所) 月 □ 日 □ (介護予防)特定施設入居者生活介護 月 □ 日 □

(介護予防)特定施設入居者生活介護 月 □ 日 □ (看護小規模多機能型居宅介護) 月 □ 日 □

チェック項目: 看護小規模多機能型居宅介護

プレビュー 保存 閉じる

4. 月間実績集計表の「年間通所人数集計表（実績）」が、平成30年4月改定の提供時間に対応致しました。

《メニュー①》 定期業務->ケアマネジメントメニュー->月間スケジュール

《メニュー②》 請求->サービス実績->月間実績集計表

[居宅介護支援サービスシステム] - 請求

対象サービス事業:
15: 通所介護

対象年月:
前月 平成30年09月* 次月 選択月を固定する

月間実績集計表 年間通所人数集計表(実績)

終了時間調整方法:
終了時間から1分を差し引いて集計

提供時間集計範囲:
通所介護向け(平30年4月改定対応)

予定外の取扱い:
実績として集計する

印刷用データ作成日時: <データなし> 閉じる

i. 「年間通所人数集計表（実績）」を押下します。

年間通所人数集計表(実績) [印刷日] 平成30年9月21日(金)

集計期間: 平成30年9月 ~ ??1年9月 時間区分: 実績時間

サービス事業: 15: 通所介護 ※括弧内はキャンセル数を表します

	平成30年	9月	10月	11月	12月	平成31年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	全体
1時間未満	予定者数														
	実施者数														
	実延人数														
	実日数														
1時間以上	予定者数														
2時間未満	実施者数														
	実延人数														
	実日数														
2時間以上	予定者数														
3時間未満	実施者数														
	実延人数														
	実日数														
3時間以上	予定者数														
4時間未満	実施者数														
	実延人数														
	実日数														
4時間以上	予定者数														
5時間未満	実施者数														
	実延人数														
	実日数														
5時間以上	予定者数														
6時間未満	実施者数														
	実延人数														
	実日数														
6時間以上	予定者数														
7時間未満	実施者数														
	実延人数														
	実日数														
7時間以上	予定者数														
8時間未満	実施者数														
	実延人数														
	実日数														
8時間以上	予定者数														
9時間未満	実施者数														
	実延人数														
	実日数														
9時間以上	予定者数														
10時間未満	実施者数														
	実延人数														
	実日数														

提供時間が平成30年4月改定に対応した時間になります。

ii, 「通所介護向け（平30年4月改定対応）」を選択します。

5. 平成 30 年 4 月改定版のリハビリテーション計画書に対応致しました。

◀メニュー▶ 定期業務->ケアマネジメントメニュー->アセスメント/計画書

The screenshot displays the Quickけあ2 software interface. At the top, there is a navigation bar with icons for Myトップ, 旧メニュー, 掲示板, メール, 文書管理, スケジュールデータビュー, ケア記録, and マスタ. Below this, a breadcrumb trail shows the path: 定期業務 -> ケアマネジメントメニュー (通リハ/通リハ). The main content area features a user information section for 予防 太郎 [16] and a document selection area with radio buttons for 標準 (selected) and オプション. A central flow diagram shows the process: 興味・関心チェックシート -> アセスメント -> 計画書 -> 生活行為向上. Below this, there are icons for リハ会議録, プロセス管理票, ケアプラン達成記, and 通所リハ経過記. A red box highlights the '標準' radio button with the text: 書式区分は、「標準」にチェックします。 Another red box highlights the 'アセスメント' and '計画書' icons with the text: 「アセスメント」と「計画書」の画面が変更となっております。 The left sidebar contains various menu items such as 利用者情報, 異動情報, 請求情報一覧, 要介護認定情報, 保険給付率, 公費, 社会福祉軽減, 介護情報, 定期業務, ケアマネジメントメニュー, 申し込み, サービス提供記録, 連絡ノート, 業務日報, 送迎管理, 意欲集計, 勤務シフト, 随時業務, and 報告業務. At the bottom, there is a 'スケジュール等' section with a '月間スケジュール' button.

【アセスメント/計画書 画面】

リハビリテーション計画書 (アセスメント)

利用者: 予防太郎 [16] 訪問 通所

(新規作成時) 書式区分:
平成30年4月版

計画作成日: 平成30年9月25日 通所リハビリ事業所: 通所リハビリテーション

目標設定等支援・管理シート:
 (設定しない) 有 無

要介護認定情報
要介護認定情報: 平30.06.01~?02.05.31 要支援1 認定済み

要介護度: リハビリテーション計画書

本人の希望: 利用者: 予防太郎 [16] 訪問 通所 本登録 新規

(新規作成時) 書式区分:
平成30年4月版

NO. 作成年月日
1 平成30.09.25

新規 複写 削除

基本情報 リハビリサービス 具体的対応 支援機関等

計画NO: 1 アセスメントNO: (設定しない)

作成年月日: 見直し予定時期:

リハビリテーションマネジメント 加算Ⅰ
 リハビリテーションマネジメント 加算Ⅱ リハビリテーションマネジメント 加算Ⅲ
 訪問・通所頻度
 利用時間
 送迎なし

印刷 プレビュー 登録 閉じる

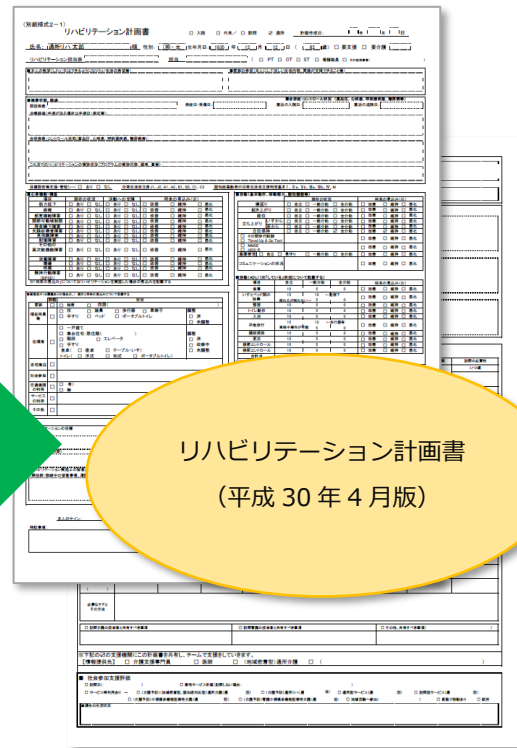
i. 「(新規作成時) 書式区分」で「平成30年4月版」を選択します。

アセスメント画面

計画書画面

ii. 新規 (または複写) を押下します。

新規 複写 削除



【補足】：リハビリサービスの週合計時間の表示について

下記の例の場合、頻度×時間で計算されます。

例) 頻度：週2回 時間：20分/回 ⇒ 週合計時間：40分

リハビリテーション計画書

利用者: 予防太郎 [16] 訪問 通所 本登録 参照

(新規作成時)書式区分: 平成30年4月版

No. 作成年月日

1

基本情報 **リハビリサービス** 具体的対応 支援機関等

■リハビリテーションサービス

+ 新たなサービス内容を追加 削除 サービス内容を削除 ▲ 上へ移動 ▼ 下へ移動

期間	頻度	時間	訪問の必要性
平30.09.04 ~	週2回	20分/回	

週合計時間 40分

新規 複写 削除 印刷 プレビュー

【入力時の注意点】
頻度は及び時間には数値のみの
入力となります。

リハビリテーション計画書 (抜粋)

	頻度	時間	訪問の必要性
	週 2 回	20分/回	いつ頃
	週 回	分/回	いつ頃
	週 回	分/回	いつ頃
	週 回	分/回	いつ頃
	週 回	分/回	いつ頃
	週 回	分/回	いつ頃
	週合計時間	40分	

計算結果が週合計時間に反映されます。

6. 福祉用具サービス計画書（選定提案書）に対応致しました。

«メニュー» 定期業務->ケアマネジメントメニュー

Quickけあ

介護保険ソフト Quickけあ2

Myトップ 旧メニュー 掲示板 メール 文書管理 スケジュール

業務メニュー > 運用業務 -> ケアマネジメントメニュー (福祉用具/福祉用具)

サービス事業: 17: 福祉用具

利用者: 予防 太郎 [16]

福祉用具管理

福祉用具サービス計画書（選定提案）が追加されています。

ケアプランメニュー

心くせん様式 旧様式

福祉用具サービス計画書（基本情報） → 福祉用具サービス計画書（選定提案） → 福祉用具サービス計画書（利用計画）

サービス担当者会議 → モニタリングシート

福祉用具貸与経過記録 ⇒ 管理画面で見る

提供票作成

福祉用具貸与管理 → 月間利用実績管理

事業者向け帳票印刷

サービス提供票等

プロフィール

平成30年09月21日(金)

18:10

山田 太郎

ユーザー情報 ログアウト

付箋紙

みんなの笑顔

その他のユーザー

<その他>

- レンタル事業者
- 福祉用具品目
- 福祉用具メーカー
- 各種名称

【選定理由の入力画面】

利用者: 予防 太郎 [16]

No. 作成年月日: 1 平30.09.25

必要理由

提案する福祉用具

【選定用具等】の「必要理由」タブで設定した“NO”が「提案する福祉用具」の“理由（※）”に反映されます。

福祉用具貸与管理から取り込むを押下すると、福祉用具貸与管理画面で登録している福祉用具項目が品目に取り込まれます。

福祉用具貸与管理から取り込むを押下すると、福祉用具貸与管理画面で登録している福祉用具項目（価格等）を読み込むことができます。

理由(※)	品目/機種(型式)/単位数/利用開始日	提案する理由	【説明方法】 カタログ Webページ TAISページ 実物等	採否
<input checked="" type="checkbox"/> 1	品目: 車いす 機種: Quick車椅子 Quick車椅子 利用額: 1000円			<input type="radio"/> (未設定) <input type="radio"/> × <input type="radio"/> ○
<input type="checkbox"/> 2				

7. 福祉用具の全国平均貸与価格及び貸与価格の、上限一覧のマスタを追加致しました。

《メニュー》 マスタ->その他「福祉用具上限価格等」

現在、最新の情報が取り込まれている為、必要ありませんが、価格変更等が行われた場合、一般公開されたファイルより価格等の取り込みが可能です。

i. 「マスタ」を押下します。

ii. 「福祉用具上限価格等」を押下します。

全国平均・上限価格等が表示されます。
本画面から個別に修正等も可能です。

商品コード	法人名	商品名	型番	全国平均貸与価格	貸与価格の上限	適用開始日	適用終了日
00020-000015	株式会社セリオ	遊歩用 バスケットホルダーセット	YH-002	1,029	1,210	平30.10.01	
00020-000016	株式会社セリオ	遊歩用 ステッキホルダーセット	YH-003	1,042	1,730	平30.10.01	
00020-000017	株式会社セリオ	遊歩用 バックミラー	YH-004	693	950	平30.10.01	
00020-000034	株式会社セリオ	遊歩用 パートナー	SBT40	22,909	25,170	平30.10.01	
00020-000035	株式会社セリオ	遊歩フレンド	SBT400	20,836	23,370	平30.10.01	
00020-000036	株式会社セリオ	遊歩スキップ	SH01	20,839	22,880	平30.10.01	
00020-000037	株式会社セリオ	大型フロントバスケット		1,097	1,860	平30.10.01	
00020-000038	株式会社セリオ	バックミラー	410411	935	3,630	平30.10.01	
00020-000039	株式会社セリオ	四点杖ホルダー	410324	1,115	2,350	平30.10.01	
00020-000040	株式会社セリオ	酸素ボンベキャリラック	410325	1,762	3,750	平30.10.01	
00020-000041	株式会社セリオ	リヤバスケット		1,084	2,050	平30.10.01	
00020-000044	株式会社セリオ	遊歩スマイル	SBT41	23,904	25,350	平30.10.01	
00020-000045	株式会社セリオ	遊歩スキップneo	SH02	20,695	22,640	平30.10.01	
00021-000008	竹中エンジニアリング株式会社	ワイヤレス徘徊お知らせ待ちくん設置型受信機セット	HS-W	8,195	10,040	平30.10.01	
00021-000024	竹中エンジニアリング株式会社	ワイヤレス徘徊お知らせ待ちくん設置型受信機セット	HS-W68	7,986	9,960	平30.10.01	
00021-000044	竹中エンジニアリング株式会社	マットセンサー	M-68	5,147	6,310	平30.10.01	

8. 福祉用具品目の一覧画面にて、全国平均価格、上限貸与価格を表示するよう対応致しました。

«メニュー» 業務メニュー->ケアマネジメント->福祉用具品目

業務メニュー > 運用業務->ケアマネジメントメニュー (福祉用具/福祉用具)

利用者情報 サービス事業: 17: 福祉用具
 介護情報 利用者:
 運用業務 ケアプランメニュー

福祉用具サービス計画書 (基本情報) → 福祉用具サービス計画書 (選定)
 サービス担当者会議 → モニタリング
 福祉用具貸与 → 福祉用具貸与

提供票作成
 福祉用具貸与管理 → 月間利用実績

<その他>
 ■レンタル事業者
 ■福祉用具メーカー
 ■福祉用具品目
 ■各種名称

ii. 利用者にチェックを入れて、「マスタより取込」を押下します。

福祉用具貸与事業者: 福祉用具

福祉用具の種目: 17*1001 車いす貸与 メーカー名: (設定しない)
 タイプ名: (設定しない) 品名:

No.	タイプ	品名	メーカー名	品番	介護保険 摘要記載内容	利用料	全国平均 価格	上限貸与 価格
1	自走式	リクライニング	ファティマ	MW-13SA	00122-000307	8,000	8,000	8,000
2	自走式	自走車椅子	ファティマ	E560	00122-000308	5,000	5,675	6,640
3	介助式	介助式車いす	Quickけあ	MW-15SA	00066-000184	3,000	4,080	4,540
4	介助式	薬々車椅子	ファティマ	MW-15SA	00066-000184	0	4,080	4,540

マスタより取込

画面上で登録した「TAISコード」と「商品コード」が一致した品目に対して価格等が取り込まれます。

新規 編集 複写 削除

プレビュー 閉じる

i. 「福祉用具品目」を押下します。

9. 褥瘡マネジメント加算の算定設定が可能になりました。

- ① 褥瘡の発生と関連のあるリスクにて評価を行い、サービス提供月に作成した場合、月初に褥瘡マネジメント加算が算定されるように対応致しました。
- ② 評価結果が介護給付費明細書の摘要欄に反映するように対応致しました。

※ご利用には別途設定が必要になりますので、ヘルプデスクまでお問い合わせください。

◀メニュー▶ 業務メニュー->褥瘡の発生と関連のあるリスク評価

業務メニュー

利用者情報
介護情報
ケアマネジメント

ケアマネジメントメニュー
栄養ケアマネジメント
栄養ケア状況
経口移行・経口給
排せつ支援計画
褥瘡対策に関する
褥瘡の発生と関連

入力画面

ユーザー: みぎわ 花子 [41] 利用者名編集

No. 異動日 異動日: 平30年9月25日 他運用事業から上書き 全ての設定値をクリア

基本情報 危険因子の評価

日常生活自立度: 自立

ADLの状況

入浴: 自分でやっている

食事摂取: 自分でやっていない

更衣: 上衣: 自分でやっている

更衣: 下衣: 自分でやっていない

基本動作

寝返り: 自分でやっている

座位の保持: 自分でやっている

座位での乗り移り: 自分でやっていない

立位の保持: 自分でやっている

なし

新規 削除

i. メニューを押下します。

ii. 「新規」を押下し、情報を登録します。

別紙様式4

褥瘡の発生と関連のあるリスク Excel 書式

利用者氏名	みぎわ 花子	様	性別	女	要介護度	
生年月日	昭和2年4月6日		(91 歳)	入所日		
評価担当者名		前回評価日		今回評価日		

日常生活自立度	自立	J (1 , 2)	A (1 , 2)	B (1 , 2)	C (1 , 2)
① 入浴	自分でやっている	自分でやっている	自分でやっていない		
② 食事摂取	自分でやっている	自分でやっていない			対象外(※1)
③ 更衣	上衣	自分でやっている	自分でやっていない		
	下衣	自分でやっている	自分でやっていない		
④ 基本動作	寝返り	自分でやっている	自分でやっていない		
	座位の保持	自分でやっている	自分でやっていない		
	座位での乗り移り	自分でやっている	自分でやっていない		
⑤ 立位の保持	自分でやっている	自分でやっていない			
⑥ 尿					(※2)
⑦ 排せつの状況					(※3)
⑧ 過去3か月以内に褥瘡の既往					

iii. プレビューを押下すると、「Excel」で表示されます。

介護給付費明細書

サービス内容	サービスコード	単位数	日数	サービス単位
ユ型福祉施設 I 4	5 1 3 1 4 1	8 4 3 3 0 2 5 2 9		
福祉施設サービス提供体制加算 I 1	5 1 6 1 0 7	1 8 3 0	5 4	
福祉施設看護体制加算 I 2	5 1 6 1 1 4	4 3 0	1 2 0	
福祉施設看護体制加算 II	5 1 6 1 2 2	3 0 1	3 6	
福祉施設褥瘡マネジメント加算	5 1 6 3 5 6	1 0 1	1 0	
福祉施設処遇改善加算 II	0 1 0 1 0 6 1 3 3 3	1 1 1 1 3 3 9		
合計				

iv. リスク評価を登録した月に、レセプトと摘要欄に情報が反映されます。

10. 特定診療費、特別療養費、特別診療費の診療項目ごとに傷病名が設定できるように対応致しました。

<対象の画面>

①サービス実績の特定診療費等の登録画面

②介護報酬請求の特定診療費等の登録画面

※介護報酬の特定診療費等の並び順は傷病名順に取り込まれます。帳票については傷病名ごとに改ページされます。

◀メニュー①▶ 請求->サービス実績画面 (サービス実績の特定診療費等の登録画面)

The screenshot displays the '請求' (Billing) system interface. The main window shows a list of users with columns for 'No.', '利用者ID', '利用者名', '性別', '認定状況', '認定区分', '要介護認定有効期間', '入所日数', '外泊日数', and '該当'. A red box highlights the first row (No. 1, 利用者ID 43, 所定疾患) with the instruction: **i. 利用者を選択、編集で開きます。**

The right side of the interface shows the '特定診療費' (Special Care Fee) registration screen. It includes a '主傷病等' (Main Injury) field and a calendar for selecting dates. A red box highlights the '特別診療費' (Special Care Fee) tab with the instruction: **ii. 「特別診療費」等のタブを押下します。**

Below the calendar, there is a table for '特定診療費明細' (Special Care Fee Details) with columns for '識別番号' (Identification Number), '特定診療項目' (Special Care Item), '単位数' (Unit Count), '回数' (Frequency), '保険単位数' (Insurance Unit Count), '摘要' (Summary), and '傷病名' (Injury Name). A red box highlights the '傷病名' column with the instruction: **iii. 傷病名の枠が追加されています。入力したい診療項目を選択し、「傷病名編集」を押下します。**

The bottom right of the interface shows a form for '傷病名登録' (Injury Name Registration) with a text input field and a '追加' (Add) button. A red box highlights this area with the instruction: **iv. 傷病名を登録します。**

《メニュー②》 請求->介護報酬請求（介護報酬請求の特定診療費等の登録画面）

[保険者請求システム]-介護報酬請求データ作成

請求年月: 2018年 10月 事業所名: 4012121215 検証用(老健・特養)療養

帳票様式: 様9 介護老人保健施設

利用者抽出条件
フリガナ: 請求区分: (すべて) 要介護区分(*): (すべて) 確定状況: (すべて)
請求結果: (すべて) エラー有無: (すべて) 被保険者番号: 保険者番号: クリア

表示順: 利用者カナ 昇順 降順 保険者別に表示する

i. 利用者を選択します。

提供年月	利用者ID	利用者名	請求区分	保険者番号	被保	要	○	
平30.09	61	減免医療	400001	3333333333	要5	×		
平30.09	34	短期から入所	400005	1231235645	要4	×		
平30.09	05	伊藤 一郎	400001	1111111111	要5	○		
平30.09	24	老健 太郎	400001	4033333333	要5	○		

[保険者請求システム]-介護報酬請求データ作成

請求年月: 平成30年10月 サービス提供年月: 平成30年9月 利用者ID: 24
事業所名: 4012121215 検証用(老健・特養)療養 利用者名: 老健 太郎

公費名: (公費適用なし) 追加 削除 入退所日等 要介護認定情報

給付費明細 所定疾患/緊急時 **特別療養費** 請求額集計 特定入所

特別療養費明細一覧:

識別番号	内容	単位数	回数	保険単	公費回数	公費単	摘要	傷病名

上へ 下へ 前回複写 **新規** 編集 削除

再計算

サービス提供証明書 プレビュー 保存 閉じる

ii. 「特別療養費」のタブを選択し、「新規」を押下します。

特別療養費明細設定

識別番号	特別療養費項目名	単位数
01	感	
02	特	
03	特	
04	特定施設管理2人部屋加算	150
05	初期入所診療管理	250
06	重症皮膚潰瘍管理指導	18
09	薬剤管理指導	350
10	特別薬剤管理指導加算	50
11	医学情報提供	250
31	摂食機能療法	185
32	精神科作業療法	220
33	認知症入所精神療法	330
34	褥瘡管理	6
35	重度療養管理	120
39	言語聴覚療法	180
47	言語聴覚療法(減算)	126
50	言語聴覚療法リハビリ体制強化加算	35
53	リハビリテーション指導管理	10

iii. 傷病名を登録し、設定を押下します。

数: 350
回数: 4
保険対象単位数: 1400
公費分回数等:
公費対象単位数:

傷病名:
|
※複数ある場合は改行で区切ってください

追加

概要:

設定 閉じる

11. 死亡日等を入力することで看取り加算/ターミナルケア加算が自動算定されるよう対応致しました。

「メニュー」 利用者情報->異動情報->利用者を編集

i. 「介護報酬算定情報」タブを押下します。

変更

ii. 「看取り介護加算/ターミナルケア加算」タブを押下します。

iii. 死亡日等の情報を登録します。

介護給付費明細書を自動作成すると、日数および摘要記載欄が自動算定されます。

サービス内容	サービスコード	単位数	日数	サービス単位数	公費対象単位数	摘要
認知症共同生活介護 I 4	3 2 1 1 4 1	8 3 5	1 8	1 5 0 3 0		
認知症対応型看取り介護加算1	3 2 6 1 4 2	1 4 4	2 4	3 4 5 6		20180926
認知症対応型看取り介護加算2	3 2 6 1 4 3	6 8 0	2	1 3 6 0		20180926
認知症対応型看取り介護加算3	3 2 6 1 4 4	1 2 8 0	1	1 2 8 0		20180926
認知症対応型入院時費用	3 2 6 4 0 0	2 4 6	6	1 4 7 6		

介護給付費明細書

12. サービス実績画面にて、食費の算定の切り替えを行うと、療養食も連動して算定の切り替えが行われるように対応致しました。

【利用料金マスタ設定方法】

「メニュー」 マスタ->運用管理「利用料金」

「マスタ」ボタンを押下します。

ii. 設定したい事業所・サービスを選択します。

事業所: 4023567890 介護福祉施設(特養)
サービス種類: 51: 介護福祉施設

事業所サービス種類別の利用料金を登録します

基本分類: (設定しない) 基準日: 平30年

No.	基本分類名	利用料金名	単価種別	単価[円]	単位	消費 税	補給 料	社福 控除	医療 控除	最終 更新日	更新 回数
1	食費	朝食	固定	350	食	*	*	*	*	平28.04.01~	1
2		昼食	固定	450	食	*	*	*	*	平28.04.01~	1
3		おやつ	固定	100	食	*	*	*	*	平28.04.01~	1
4		夕食	固定	480	食	*	*	*	*	平28.04.01~	1
5	居住費	居住費1	固定	1,970		*	*	*	*	平28.04.01~	1
6		居住費2	固定	1,970		*	*	*	*	平29.08.01~	1
7		居住費3	固定	1,970		*	*	*	*	平29.08.01~	1
8		居住費4	固定	1,970	日	*	*	*	*	平30.04.01~	1
9	その他	調整金								平28.04.01~	1
10		理美容代								平28.04.01~	1
11		おむつ								平28.04.01~	1
12	立替金	立替え金								平28.01.01~	1

iii. 設定する食事を選択します。

iv. 「運用設定 (算定項目)」のタブを選択し、設定する項目を編集で開きます。

運用設定(算定項目)

No.	算定項目名	算定 区分	適用 開始日	適用 終了日	説明
1	朝食	付帯	平28.04.01		

v. 該当する「食事区分」を設定します。

算定項目名: 朝食
略称1: 朝食
略称2: 朝食

基本設定

算定区分: 付帯算定
適用開始年月日: 平28年4月1日
適用終了年月日:
初回算定時: 算定する
空床利用時: (設定しない)

介護内容区分:

食事区分: 朝 昼 夕

【操作画面】

«メニュー» 請求->サービス実績

サービス事業: 51: 介護福祉施設(特養) 前月 平成30年09月* 次月 選択月を固定する

フリガナ: (設定しない) 地域: (設定しない) 利用区分: (設定しない) 公費種類: (設定しない)

利用者ID: (設定しない) 担当者: (設定しない) (設定しない)

介護内容区分: (設定しない) 表示順: フリガナ

No.	利用者ID	利用者名	性別	認定状況	認定区分	入所日	要介護認定有効期間	入所日数	介護日数	公費種類	負担段階
1	34	短期から入所		済	要4		平30.06.01~?01.05.31				
2	3	相上 市郎		済	要3		平30.04.01~平31.03.31	30			
3	85	伊藤 一郎		済	要3		平30.01.01~平30.12.31				
4	4	垣匂 けんこ		済	要3		平30.03.01~平31.02.28				

請求

利用者: [3]

カレンダー① カレンダー② 利用料金 集計情報

表示内容: (すべて) 算定項目抽出: (設定しない)

区分	期間	設定内容①	設定内容②	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	* 計
利用	平28.04.01~			土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	∞
担当	平30.08.22~		地域包括支援センター(総合)																														∞	
要介	平30.04.01~	要3	福岡市(西区)																														1年	
認定	平31.03.31	更新認定																																

介護内容

介護内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	* 計
[施福(ユニット型個室)]	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	30
個別機能訓練加算																															0
再入所時栄養連携加算																															0
低栄養リスク改善加算																															0
配置医師緊急時対応加算(早朝・夜間)																															0
配置医師緊急時対応加算(深夜)																															0
療養食加算(夕)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	30
生活機能向上連携加算1																															0
朝食	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	30
昼食	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	30
おやつ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	30
夕食	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	30
居住費1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	30

操作方法: 通常画面で設定

実績内容調整 新規 編集 複写 削除

プレビュー 保存 閉じる

※請求情報の「療養食加算」の設定は、通常通り必要となります。

[介護支援サービスシステム] - 請求

利用者名: 相上 市郎 [3]

前月 平成30年09月* 次月

カレンダー① カレンダー② 利用料金 集計情報

表示内容: (すべて) 算定項目抽出: (設定しない)

区分	期間	設定内容①	設定内容②	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	* 計
利用	平28.04.01~			土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	∞
担当	平30.08.22~		地域包括支援センター(総合)																														∞	
要介	平30.04.01~	要3	福岡市(西区)																														1年	
認定	平31.03.31	更新認定																																

介護内容

介護内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	* 計
[施福(ユニット型個室)]	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	30
個別機能訓練加算																															0
再入所時栄養連携加算																															0
低栄養リスク改善加算																															0
配置医師緊急時対応加算(早朝・夜間)																															0
配置医師緊急時対応加算(深夜)																															0
排せつ支援加算																															0
褥瘡マネジメント加算																															0
療養食加算(朝)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	29
療養食加算(昼)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	29
療養食加算(夕)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	29
生活機能向上連携加算1																															0
朝食	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	29
昼食	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	29
おやつ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	30
夕食	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	29
居住費1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	30

操作方法: 通常画面で設定

実績内容調整 新規 編集 複写 削除

プレビュー 保存 閉じる

13. 入院時費用について、異動情報で入院情報を登録し、サービス実績画面にて自動で取り込まれるよう対応致しました。

「メニュー」 利用者情報->異動情報

利用者: Quick 花子 [0000000002]

区分: 長期 入所日: 平30.08.01 退所日:

異動日: 平30年9月11日 異動区分: 入院

入院

入院時間:

算定区分:
 入院日に基本サービス費を算定する
 医療機関

医療機関: (設定しない)

主治医:

食事オーダーとの連携設定 (未設定)

備考:

i. 「新規」を押下します。

ii. 入院の情報を入力します。

サービス事業: 32: GH

前月 平成

サービス実績画面

iii. 「異動情報/食事オーダーから作成」を押下します。

iii. 「異動情報/食事オーダーから作成」を押下します。

請求

利用者名: Quick 花子 [0000000002] 前月 平成30年09月* 次月

カレンダー① カレンダー② 利用料金 集計情報

表示内容: (すべて) 算定項目抽出: (設定済み)

区分	期間	設定内容①	設定内容②	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	*	計
利用	平30.08.01~			土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	計	
状況																																		∞	
計画	平30.02.01~	43: 居宅支援	ファミマ居宅																															∞	
作成																																		∞	
担当	平30.02.01~		ファミマ居宅																															∞	
ケアマネ																																		∞	
入退	平30.09.11~																																	∞	
介護内容				土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	計	
退所時相談援助加算																																		0	
認知症専門ケア加算																																		0	
定員超過																																		0	
人員基準準如(介護従業者)																																		0	
朝食																																		11	
昼食																																		11	
夕食																																		11	
[空床(認知症共同生活)]																																	19		
栄養スクリーニング加算																																		0	
口腔衛生管理体制加算																																		0	
入院時費用																																		6	
生活機能向上連携加算																																		0	

入院時費用が反映されます。

入院時費用が反映されます。

14. 平成 30 年 4 月改定版の栄養ケア計画書に対応致しました。

«メニュー» ケアマネジメント->栄養ケアマネジメントメニュー

The screenshot shows the QuickCare software interface. The top navigation bar includes '業務メニュー' (Business Menu) with options like '利用者情報' (User Information), '介護情報' (Nursing Information), and 'ケアマネジメント' (Care Management). The 'ケアマネジメント' menu is expanded to show '栄養ケアマネジメント' (Nutrition Care Management) and '栄養ケア状況' (Nutrition Care Status). The '栄養ケア状況' option is circled in green. A red box highlights the '書式選択' (Form Selection) section, which has radio buttons for 'H21.4以前' (Selected) and 'H30.4以降' (Unselected). A green box points to the '栄養ケア状況' button, stating that the screen display has changed. Another green box points to the '栄養ケア計画書' (Nutrition Care Plan) button, stating that the screen is now separated from screening and assessment. A third green box points to the '栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリング' (Nutrition Screening, Assessment, and Monitoring) button, stating that the screen composition has changed. A yellow dashed box labeled 'H21.4 以前' (Before H21.4) shows the old layout where '栄養スクリーニング' (Nutrition Screening) leads to '栄養アセスメント・モニタリング' (Nutrition Assessment and Monitoring), which leads to '栄養ケア計画書' (Nutrition Care Plan). Below the plan book are '栄養ケア提供記録' (Nutrition Care Provision Record) and 'カンファレンス記録書' (Conference Record). A red box points to the '書式選択' section, stating that 'H30.4以降' (After H30.4) should be selected.

栄養ケア状況の画面表示が一部変更
となっております。

書式選択は、「H30.4以降」にチェックします。

栄養ケア計画画面は、スクリーニング等から分離し、
単独の画面構成になっています。

画面構成が変更となっております。

H21.4 以前

利用者: ファティマ 二郎 [1]

書式選択:
 H21.4以前 H30.4以降

栄養ケアマネジメント

■ 栄養ケア状況

栄養スクリーニング → 栄養アセスメント・モニタリング → 栄養ケア計画書

栄養ケア提供記録
⇒管理画面で見る

カンファレンス記録書

【基本情報画面】

【その他】 - H30.04 栄養スクリーニング・アセスメント(施設)

利用者名: ファティマ 二郎 [1] 作成NO: 2 作成年月日: 平30年9月27日 記入者: 管理者

作成NO	プロセス	実施日	リスク
2	A	平30.09.28	低
1	S	平30.09.27	低

プロセス: **アセスメント** (設定しがい)
 基本情報: **スクリーニング** 等 食生活状況等 多職種による
 要介護認定情報: **アセスメント**
 モニタリング: **モニタリング**
 2回目 要介護1 認定済み

病名:
 傷病名

特記事項:

身体状況、栄養状態、食事・栄養補給に関する利用者及び家族の意向:
 身体状況について

家族構成とキーパーソン:

H30.04 版では、“スクリーニング”、“アセスメント”、“モニタリング”のプロセス別に管理を行なうことができます。

“利用者情報から取込む”を押下すると、利用者台帳の「疾病状況」に登録している傷病名が取り込まれます。※「治癒なし」の病名が対象です。

病名マスタから取り込むことが可能です。

画面でチェックした履歴の内容が、一つの書式にまとめて表示されます。

する意向	(以下は、入所(入院)者個々の状態に応じて作成。)		(支援)
実施日	平30年9月27日 (管理者) (スクリーニング)	平30年9月28日 (管理者) (アセスメント)	年月日 ()
低栄養状態のリスクレベル	低 中・高	低 中・高	低・中・高
本人の意欲 ²⁾ (健康感、生活機能、身体機能など)	[2]	[2]	[]
身長 (cm)	170.0 (cm)	170.0 (cm)	()
体重 (kg)	60.0 (kg)	60.0 (kg)	()
BMI (kg/m ²)	20.8 (kg/m ²)	20.8 (kg/m ²)	(kg/

新規 複写
 アレビュー

閉じる

【低栄養状態のリスクレベル等／食生活状況等／多職種による栄養ケアの課題／評価・判定 画面】

プロセス: 実施日: 低栄養のリスクレベル: 固定する

基本情報 低栄養状態のリスク(状態) 食生活状況等 多職種による栄養ケアの課題／評価・判定

リスクレベルが自動判定の為、レベルを固定したい場合にチェックします。

本人の意欲
1: よい

低栄養状態のリスク(状況)
身長: cm 体重: kg BMI:
前回体重: kg 体重増減: (設定しない)
血清アルブミン値: g/dl 検査日:

褥瘡:
 無 有

栄養補給法:
 経腸栄養 静脈栄養 (設定)

その他:

プロセス: 実施日: 低栄養のリスクレベル: 固定する

基本情報 低栄養状態のリスク(状態) 食生活状況等 多職種による栄養ケアの課題／評価・判定

栄養補給の状況
食事摂取量: %
主食の摂取量: 主食: % (設定しない)
主菜、副菜の摂取量: 主菜: % 副菜: %
その他(補助食品など):

食事栄養量や理想体重は、従来通り自動計算に対応しています。

必要栄養量(エネルギー・たんぱく質など)
 kcal g

栄養量計算に必要な情報
通常体重: kg
標準(理想)体重: kg

食事時の摂食・嚥下状況(姿勢、食べ方、むせ等)
(設定しない)

嚥下調整食の必要性の有無
 無 有
とろみ: (設定しない)

プロセス: 実施日: 低栄養のリスクレベル: 固定する

基本情報 低栄養状態のリスク(状態) 食生活状況等 多職種による栄養ケアの課題／評価・判定

特記事項:

評価・判定
 無 有
 ① 食事摂取・栄養補給の状況(補助食品、経腸・静脈栄養など)
 ② 身体機能・臨床症状(体重、摂食・嚥下機能、検査データなど)
 ③ 習慣・周辺環境(食・生活習慣、意欲、購買など)
 ④ その他

総合評価の内容は、栄養ケア状況にも反映されます。

総合評価
 (未設定)
 改善
 改善傾向
 維持
 改善が認められない

【低栄養状態のリスクレベル等（体重増減の自動計算）】

プロセス: 実施日: 低栄養のリスクレベル: 固定する

基本情報 低栄養状態のリスク(状況) 食生活状況等 多職種による栄養ケアの課題/評価/判定

本人の意欲
1:よい

低栄養状態のリスク(状況)
身長: cm 体重: kg BMI: kg/m²

前回体重: kg 体重増減: 月に % kg

検査日: 中リスク

前回体重の選択

作成NO	プロセス	実施日	リスク	体重
3	M	平30.10.16	中	44.0
2	A	平30.09.03	中	42.5
1	S	平30.08.16	中	43.0

低栄養状態のリスク(状況)
身長: cm 体重: kg BMI: kg/m²

前回体重: kg 体重増減: 月に % kg

ii. 比較をする前回体重のデータを選択します。

iii. 前回と今回の体重増減を自動で計算し、結果が反映されます。
※月の間隔は、実施日で判断します。(1、3、6 か月の場合のみ)

【栄養ケア状況】

栄養ケア状況

前日 平30年9月27日 翌日 特養->特養

プロセス毎に管理されるようになりました。

抽出対象: 最新

最新
指定日以前

フロア: (設定しない) リスク: (設定しない) フルケア: 居室順 フルケア順 全員 該当者

No.	居室	利用者	リスク	スクリーニング 経過日数	アセスメント 経過日数	モニタリング 経過日数	カンファレンス 経過日数	計画書 経過日数	経過記録 経過日数
1	101	特養 一郎	中	平30.07.27 62日	平30.07.28 61日	平30.08.15 改善傾向 45日	平30.07.27 62日	平30.07.27 62日	平30.08.27 31日
2	102	相上 市郎		平30.09.27 0日					
3	103	垣句 けいこ							
4	105	指巢 世子							
5	106	籠 伝斗							
6	107	何布 ねね							
12	202	研修 用次							
13	203	野口 笑子							
14	205	丸尾 末男							
15	206	花輪 和彦							
16	207	藤木 茂							
17	208	永沢 君男							
18	210	みぎわ 花子							

画面をクリックすると当該日付の記録画面が表示されます。
 ※抽出対象で指定日以前を選択すると過去のデータになります。
 ※H21.4 以前 (旧様式) で作成されたものは、旧画面で表示されます。

多職種による栄養ケアの課題/評価・判定の「総合評価」の内容が反映されます。

■最新
⇒最新の履歴が表示されます。
 ■指定日以前
⇒画面左上で選択した日付以前の履歴が表示されます。

本画面から新規に入力する場合は、メニュー画面の“書式区分”で選択した画面が表示されます。

書式選択:
 H21.4以前 H30.4以降

栄養ケアマネジメント

栄養ケア状況

栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリング → 栄養ケア計画書

過去の機能

【栄養ケア状況（栄養アセスメント等一覧）】

栄養ケア状況

前日 平30年10月2日 翌日 特養->特養 (設定しない) 抽出対象: 最新

フロア: (設定しない) リスク: (設定しない) プリカケ: 居室順 フリカケ順 全員 該当者

No.	居室	利用者	リスク	スクリーニング	経過 日数	アセスメント	経過 日数	モニタリング	経過	カンファレンス	経過	計画書	経過	経過記録	経過 日数	
1	101	原爆生保 併用														
2	101	ショート 花子														
3	101	特養 一郎	低	<日付なし>	0								07.15	809日	平30.04.02	183日
4	102	相上 市郎	中	平30.08.16	47								08.20	43日	平30.09.07	25日
5	102	山本 一郎														
6	103	垣句 けいこ	低	<日付なし>	0								08.19	44日		
7	105	短期から入所											09.01	31日		
8	105	指巢 世子														
9	106	館 伝斗														
10	107	何布 ねね														
11	108	羽日布 経輔														
12	110	真実 武														
13	112	短期 ショーコ														
14	113	短期 入所														
15	202	研修 用次	高	平30.09.29	3日	平30.09.30	2日	平								
16	203	野口 笑子		<日付なし>	0日	<日付なし>	0日	<								
17	205	中屋 志里														
18																
19																
20																
21	210	みぎわ 花子														
22	220	山本 二郎														
23		伊藤 一郎														

ii. 表示したいプロセスを選択します。

プロセス:
スクリーニング

プレビュー 印刷 閉じる

i. 「栄養アセスメント等一覧」を押下
します。

iii. 選択したプロセスの情報一覧が表示されます。

低リスク: 2件 中リスク: 1件 高リスク: 1件

栄養アセスメント等一覧(H30.4書式) 印刷 プレビュー 入力画面へ

閉じる

栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリング一覧(施設) 1 / 1 頁

運用事業名: 介護福祉施設(特養)->介護福祉施設(特養) 基準日: 指定なし(最新) プロセス: スクリーニング リスク: すべて

No.	利用者名	居室	リスク	実施日	低栄養状態のリスクの状況					栄養補給の状況(食事摂取量)				必要栄養量							
					身長 (cm)	体重 (kg)	BMI (kg/m ²)	体重増減量 (kg)	体重増減率 (%)	期間	血清7&7F7 (g/dl)	褥瘡	経腸	静脈	全体 (%)	主食 (%)	主菜 (%)	副菜 (%)	エネルギー (kcal)	蛋白質 (%)	
1	相上 市郎	102	中	平30.08.16	150.0	43.0	19.1					3.5									
2	研修 用次	202	高	平30.09.29	160.0	48.0	18.8	2.0減	5.0減	1か月	3.2		有	有		90	90	90	90	1,159	56.3

15. (栄養ケアマネジメント等で) 分類等を指定した際に、定型文の登録・表示が分類等と連動するよう対応致しました。

«メニュー» 例) 定期業務->栄養ケアマネジメント->栄養ケア提供記録

【定型文の登録方法】

The screenshot shows a software interface for recording nutrition care management. The main window displays a list of service items, with '栄養食事相談' (Nutrition Consultation) selected. A context menu is open over the selected item, and the option '「サービス提供項目」と連動する' (Link to service provision item) is checked. A green circle labeled '選択' (Select) points to this option. A red box highlights the 'サービス提供項目' dropdown menu, which contains '栄養食事相談'. Another red box highlights the '「サービス提供項目」と連動する' option in the context menu. A third red box highlights the '<定型文として登録>' (Register as template text) option in the context menu. A fourth red box highlights the '保存' (Save) button at the bottom of the '定型文の設定' (Template text settings) dialog box. A green box highlights the '定型文' (Template text) field in the dialog box, which contains the text '無理なく継続ができるようアドバイスします。' (Advice to continue as much as possible). A fifth green box highlights the 'キーワード' (Keyword) field in the dialog box, which contains '栄養食事相談' (Nutrition Consultation). A large green arrow points from the main window to the dialog box. The dialog box also shows '分類上:' (Classification) and '分類下:' (Sub-classification) dropdown menus, both set to '(設定しない)' (Not set).

i. 「サービス提供項目」を選択します。
例では「栄養食事相談」を選択しています。

ii. 『「サービス提供項目」と連動する』にチェックを入れます。

iii. 定型文に登録する内容を選択し、『<提携文として登録>』を押下します。

iv. 「保存」を押下します。

前の画面から「定型文」「キーワード」が反映されます。

【定型文の呼び出し】

栄養77経過記録

利用者: 伊藤 博文 [94]

対象日 サービス提供項目
平30.09.25 栄養食事相談

サービス事業: 21: 介護福祉施設<短期入所・介護>

対象日時: 平成30年9月25日

対応者: 山田 太郎

サービス提供項目: 栄養食事相談

無理なく継続ができるようアドバイスします。

印刷/プレビュー

登録 閉じる

サービス提供項目で「栄養食事相談」を選択すると、「キーワード：栄養食事相談」で登録された定型文が表示されます。

1: 無理なく継続ができるようアドバイスします

<定型文として登録>

<定型文管理...>

<別画面で編集>

クリップボードへコピーする

クリップボードから貼り付ける(追記)

「サービス提供項目」と連動する

『「サービス提供項目」と連動する』のチェックを外すと、キーワードとの連動表示が解除されます。

以下の画面でも、同様の登録が可能です！

- 各サービス種類：支援経過記録の「業務分類」
- ケア記録：その他特記の「業務分類」
- 相談員特記：「業務分類」

16：【現在未対応の問題】訪問看護（介護）で、3割負担かつ難病公費で自己負担上限額がある場合のレセプトについて

訪問看護（介護）3割負担の方で難病公費（54）、かつ自己負担の上限を持っている場合は
介護保険の2割負担の金額をベースに自己負担上限額の手入力が必要になりますので、ご注意ください。

- ①介護保険2割負担の額<自己負担上限額 ⇒ 公費分本人負担に2割負担額を記載
- ②介護保険2割負担の額>自己負担上限額 ⇒ 公費分本人負担に自己負担上限額をそのまま記載

「メニュー」 請求->①介護報酬請求（請求データ個別編集画面）

[保険者請求システム]-介護報酬請求データ作成

例) 3割負担で難病公費の自己負担額が9,000円の利用者の場合

■ 2割負担額の計算方法

①10割負担額 = 3588 × 10.70 (切り捨て) : 38,391円

②保険請求額 = 38,391円 × 0.8 (切り捨て) : 30,712円

⇒ 2割負担額 (① - ②) = 7,679円

■ 公費分本人負担の入力（利用者（共）->公費上限額）

公費上限額に9,000円を登録していますが、上記のケースでは2割負担額を超える為
本請求データの編集画面で2割負担額となる（7,679円）を手入力する必要があります。
※自動作成のままだと、上限額の9,000円が取り込まれている状態です。

2割負担額となる（7,679円）を手入力して、「再計算」を押下します。

公費請求額 (円) 3838
公費分本人負担 (円) 7679

再計算